

第3回 第4分科会会議録（概要）		場 所	区役所第2分庁舎1-⑦ 会議室
日 時	平成17年7月30日 午後1時35分～午後4時5分	記録者	【学生補助員】 洪仙希、佐藤敦子
		責任者	区事務局（熊澤）
会議出席者：41名 傍聴者0名 （区民委員：34名 学識委員：3名 区職員：4名）			
■配布資料 ①第3回第4分科会会議進行次第 ②第2回第4分科会会議録(概要) ③新聞切抜き4枚 ■進行内容 1 グループワーク(各チーム発表内容の確認) 2 グループ発表 3 事務局からの連絡事項 ■会議内容 【発言者】●：区民委員、◎：学識委員、○：区職員 0. 開会（○：説明） それでは、第4分科会、今回が第3回目になりますけれども開会したいと思います。今日は暑い中、また場所もわかりづらかったと思いますけれども、お集まりいただきましてありがとうございます。それでは資料の確認をしたいと思います。 ・配布資料の確認 ①進行次第 ②第3回第4分科会会議議事録 これは区民会議のHPの方にもアップしております。そちらもご覧ください。 ・本日の会議の流れ 本日のテーマとしまして、環境問題の共通認識を持とうということで、新宿区の環境の特徴を考える、現状と課題を把握ということで前回行いました模造紙に書いていただいたものを今日はグループ発表していこうということになります。模造紙自体が小さいので、どこか一箇所に貼ると遠い方は見えづらいかと思いますが、よろしく願います。それが終わりましたら、事務局からの連絡事項、次回の開会日程についてお話をさせていただきます。15時半閉会を目標に進めていきたいと思っております。それでは、本日のテーマに移りたいと思っております。 ◎：(吉田) どうもみなさんこんにちは、暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。私は8月2日から愛・地球博に行つてまいります。市民パビリオンというところで、子供を対象に環境教育プログラムを去年から始めていますので、発表してまいります。また皆様に報告できるような他の市民の方の活動の情報がありましたら持ってきますので、期待していただけ			

ればと思います。また皆様も何か情報がございましたらどしどし提供していただければと思います。今日は前回のグループワークについて発表していただきたいと思います。けれども、あれからずいぶん時間もたちましたのでもう一度ふり返る時間を設けたいと思います。時間の使い方は自由です。もう少しきれいにしようというのでも結構ですし、もう一度まとめなおそうというのでも結構ですが、14時まで20分間もう一度皆様の中で議論していただければと思っています。前回来られなかった方も普段思っていたらしゃることを発表の中に盛り込んでいただければと思っています。各グループコーディネーターを中心にまとめていただければと思います。発表の形式は自由ですので、作業の方よろしくをお願いします。

1. グループワーク

各グループ前回グループワークのふり返り（13:40~14:00）

◎：（吉田）発表の仕方についてお知らせします。各グループ発表を7分、その後の質問を8分の全体で15分間の発表をお願いします。グループの発表が5分たちましたら、事務局が合図いたします。

2. グループ発表（14:00）

◎：（吉田）14時になりました。そろそろ発表に移らせていただきたいと思います。各グループの代表の方挙手をお願いします。では、お一人ずつお名前を聞かせていただいてよろしいでしょうか？（各グループの代表答える）それでは、発表のやり方をご説明します。赤で書いてある方が発表の順番ですけれども、白で書いてある班の方に質問をしていただきたいと思います。他の班の方も質問をお願いします。発表は7分で、5分経ったところで事務局の方でお知らせします。発表後のことなのですが、今日発表していただいた7つの主張をまとめあげる作業をしていただきたいと思います。先程挙手していただいた各グループ代表の方にお集まりいただいて、まとめあげの下作業をしていただきたいと思います。次回の分科会で下作業でまとめたものを議論し、一つの案を作りたいと思います。その中で問題関心ごとに、またチームを作り議論をしていきたいと思います。それではA班からぐるっと壁を取り囲む形で模造紙を貼って発表していただきたいと思います。それではA班の方から発表をお願いします。

※ 発表と質問の順番：A→C、B→E、C→G、D→A、E→D、F→B、G→F

● 1：それでは始めます。まず私たちはAという頭文字を取ってアトムチームということにしました。キーワードとして街路樹、環境とモラル、リサイクル、小さな緑、文化、CO₂、エネルギーを考えました。それぞれについて考えていきます。まず環境とモラルということから、子ども達が自然にふれられる場所がないということが一つの課題だと思います。後、モラルということも課題だと思います。また文化ということでは、新宿の地域を生かした文化を世界に発信していくということです。

● 2：街路樹に関しては、街路樹は今まで行政の方たちだけが作ってきましたが、これからは

市民の人たちの意見を聞いて街路樹、公園作りなど作り上げたいと思いました。

- 3：小さな緑の担当になりました。まず、手軽にできる緑を実施したいと思います。春には区民に苗木を配布するなど。その際大きくならず、ベランダで育てられる花などどうだろうかという意見もありました。以上です。
- 4：リサイクルの問題なのですが、分別が徹底されなければならないのですが、それには区民の意識、モラルが重要なのですが、分別が容易にできるようにしていただきたいと思います。
- 5：CO2の問題ですが、具体的に自分たちが何をすれば良いのかわからないという意見が出ました。また、緑地を増やしてはどうか、自転車、電車など利用してはどうか、環境庁の「我が家の環境大臣」に参加しては、などの意見がでました。
- 6：エネルギーの問題では、エアコンの設定温度が低いのでは、暖房器具に頼ったままで良いのかなどの意見がでました。対策としてはこまめにスイッチを消すということができました。

◎：(吉田) A班の方素晴らしい主張、ありがとうございました。それでは、C班の方質問をお願いします。

- (意見1)：リサイクルなど新宿区全体の現状の認識というものはどうなっているのか？
- (回答)：細かいところは時間の関係上考えていない。普段感じていることを話し合った。
- (意見2)：今はどういう段階にあるのか？
- (回答)：私たちのグループは区民が3名、在勤方が3名でしたので新宿区全体のことを話すというのも難しかったので、そこまでは話し合っておりません。

◎(吉田)：ありがとうございます。学識委員の先生方何かご質問ございますか？それではB班の方をお願いします。

- 1：まず私たちはどんな問題があるかを3つに大雑把に分けました。新宿区は昼間の人口と夜の人口が違い、ごみの収集など大変なのではないか、一つの提案としては商業地帯を少なくしてごみを出させなくするというのと、緑の問題がありますが後ほど説明します。またたばこの問題としてたばこの新しい条例ができましたが、それだけではあまり効果も薄いので条例だけでなく罰則も設けるべきだと思います。ホームレスの問題として、ホームレスの方がびん・缶などごみの日に出すが缶だけもってってしまうという問題がある。学校の問題として、子供達が清掃活動をしていたのですが、業者が片付けた後で清掃をしていたのであまり意味がないのではないかと、また、生活の問題として24時間営業のコンビニ、若い子供達が補導されたりする問題があります。最終的には個人個人の教育の問題ということになりました。
- 2：ごみの問題ですが、条例が施行されるが、条例だけでは町はきれいにならないし、町の方が率先して自分の店の前だとか清掃することが大切だと思います。また、ホームレスの問題として、大都市特有の問題だが、職に着いてもらうなど至急なんとかしたいと思います。

◎：(吉田) ありがとうございます。E班質問をお願いします。

●(感想1)：ごみの問題も住んでいる方たちと解決していかなければならないのかなというのが感想です。

◎(吉田)：ありがとうございます。先生方何か質問ございますか？教育というのに焦点があてられていて、概念について話されて、素晴らしいと思います。C班の方よろしくをお願いします。

● 1：発表をさせていただきます。私たちは①環境の定義があいまいである。②新宿区の住民には一人暮らし、高齢者、外国人などさまざまな人たちがいるという特徴がある。③具体的な環境問題と解決方法と3つ大きく分けて話し合いました。

● 2：地道な活動をなさっている方たちもいらっしゃるが、その他の人たちの行動を見るとギャップを感じます。個人の意識ということをお話し合っていきたいと思いました。

● 3：私も在勤者の一人です。地域に愛着を持っていない人たちの行動が問題。そういう人たちをどうまきこむか、がこれからの課題かと思います。

● 4：ごみの問題についてお話しします。新宿は通勤者がごみを落としていきます。人々のモラルの問題だと思います。昔は分別ができていない人にも注意をしていました。みなさんにも是非協力してやっていただきたいと思います。

● 5：ごみでももったいないものがあると思います。私はリサイクルやリメイクをする活動を行っています。

● 6：環境の定義があいまいである。環境問題とは全分科会に関わることであり、第4分科会だけで環境というのはどうなのか。第4分科会における環境とは何なのか。また、新宿は環境都市宣言をしているが環境都市宣言とは、①今まで以上の環境汚染をしない②21世紀にむかって環境を創造していくという2つの視点があると思います。今、山の手通りでは工事が行われていますが、環境都市宣言がまったく活かされていないと思います。

◎：(吉田) ありがとうございます。それではGグループの方質問をお願いします。

●(意見1)：全ての問題の解決は個人の意識だと思います。事務所でもきちんと掃除されている事務所ではちゃんとごみを捨てなければと思うが、汚い事務所だと少しくらいという気もする。個人の意識をどう広めていくかが課題だと思います。

●(回答)：環境の定義を決めて、それにそって教育をしていけば良いと思います。

●(意見1)：どうそれを広めますか？

●(回答)：それはこれから考えていきます。

◎：(吉田) C班は大事な二つのことについて発表していただいたと思います。個人の意識をどう高めるか、環境の定義があいまいだという問題提起をしていただいたと思います。それでは、D班をお願いします。

- 1：今までの班とは違い、私がまとめて発表させていただきます。自然環境、人口構成、建築物、まちの特徴、住民の環境意識と言う点で考えてみました。右側の海、山がないというのは緑が少ないということなのですが、廃棄物のリサイクルで堆肥化などされているところがないということ、また緑が偏っているというのは新宿御苑などということです。また、人口構成は昼間の人口が多く、その人たちがごみを捨てていくという問題もあります。また外国人が多いということ、高齢者など、コミュニケーションが取りにくいという問題があります。建築物では、大きな病院が多いので医療廃棄物なども出ていると思います。また、町の特徴としまして、商業地域もあれば住居いろいろな地域があるということです。また掘り下げていませんが、エコマーク商品が手に届くところがないということもあります。住民の環境意識という点では、共通表示が必要だということ、教育など、行政、子供、学校の輪がないのではないかと、またこれは良いことなのですが、エコギャラリーというのが教育の輪や、環境の意識を高めていくということをしていますので、ご紹介しました。また、事業所などでは良いことをすれば評価されますが、住民一人一人への評価がないということができました。
- 1：また住民が話せる場というものが整備されていますが、住民が少し話したい時に話せる場がないのではないかと思います。

◎：(吉田) ありがとうございます。それではA班の方質問をお願いします。

- (意見1)：新宿にはもうこれ以上緑を増やせないのでは？子供に緑に触れさせたいのなら、新宿に限らなくても良いのでは？新宿以外の場所に緑を増やすということでも良いのでは？
- (回答)：ミニサンクチュアリのようにビルの谷間にでもそういう空間を設けてもらいたいと思います。
- (質問1)：環境教育をしているところとおっしゃっていたが、それはどこのことか？
- (A班)：エコギャラリー新宿というのは昔の区民ギャラリーの2階が新宿区立環境学習情報センターが去年の6月に開設されまして、区民ギャラリーと新宿区立環境学習情報センターを合わせて愛称としてエコギャラリーと使っています。
- (意見1)：昼夜人口についての解決方法については？
- (回答)：これから考えていこうと思います。

◎：(吉田) 今回は現状の課題を把握するために行っていますので、それに沿った質問をお願いします。解決方法もこれから考えていかなければならないと思います。それではE班の方よろしくをお願いします。

- 1：Eグループでは新宿区には都庁があるのに誇れるものがない、ということで、きれいなまち新宿、をテーマに話し合いをしてきました。まず、中央公園を源氏の庭園にということでお話をさせていただきたいと思います。
- 2：新宿区というと、歌舞伎町や中央公園の青いテントを想像なさる方が多いと思います。現在、新宿区の環境土木課が植物の名所作りというのを始めておりまして、私も第1回ワー

クショップに参加しました。区長も力を入れており、ホームレスのテントについて以前は200個あったものが30何個にまで減少しました。現在、また新しいホームレスが入らないようにと木を伐採したものを山積みにして人が入れないようにしているのですが、それを早くきれいにしようと植物の名所作りに取り組んでいるのです。そこで、同じ草木を植えるなら源氏物語の庭園にして欲しいという提案をしたいと思います。源氏物語は植物と関係した歌物語です。源氏物語に出てくる植物で、今植えられているものに加え足りないものを植えていただければと思います。源氏物語という京都を思い浮かべますが、新宿の中央公園に源氏の庭園がある、ということになればと思っています。新宿公園の中に池なども作ってもらえれば京都まで行かなくても中央公園で源氏の庭園がみられるようになります。ちょうど今、新宿区が植物の名所作りに取り組んでいるところですし、ぜひこの機会に源氏の花をプラスしていただければと思います。木に源氏物語の歌をぶら下げていただくなど、これは割とすぐにできるのではないのでしょうか。

- 1：まちの中にきれいな流れをぜひ呼び戻したい、緑の多いきれいなまち作りということで次にお話していただきたいと思います。
- 3：私はヒートアイランド現象についてお話したいと思います。これはこの間NHKで取り上げられたばかりですが、新宿区では大きな公園があり、それが大きな影響を与えているということでした。ヒートアイランドの原因の一つは緑、水の面積が少なくなったということですが、前回の話し合いで出た、川をよみがえらせるということもヒートアイランドの原因の一つを取り除くことになると思います。公園の水辺に水鳥の飛ぶ新宿ということも夢ではないのでは、と思います。この間の資料には現在の新宿区の緑比率は現在17%で将来的には19%に持っていくのが目標だとありましたが、ヒートアイランド現象には早急に手を付けていかないと大変なことになるのではないかと思います。
- 1：他のグループの方もおっしゃっていましたが、歩きタバコの問題、大気汚染、駐輪場が少ないということ、新宿西口付近では朝早くから悪臭がただようこと、屋上の緑化の推進をした方がいいということ、町内のゴミ分別がうまくできず、カラスがゴミを散らかし悪臭の原因になっていること、コンビニのゴミが置かれた路上が目立ち歩きにくい、タバコの吸殻が路上に目立つということ、また、夜間のネオンサイン・24時間営業のコンビニと青少年問題との関連性を考えていかななくてはならないということが議論の中で出ました。その対策については時間の関係上話し合うことはできませんでした。

◎：(吉田) ありがとうございます。それではD班の方、ご質問、ご意見をお願いします。

- (質問1)：ゴミが散乱したり、カラスがゴミをつついていているということだが、それは新宿区どの地域か。
- (回答)：住んでいる方全員から出たのでどの地域かはわからないが、新宿地域全体としてとらえていただきたい。
- (意見1)：若松地区では美化対策委員会ができ、まちの清掃とゴミ問題に取り組んでいる。最初は多かったカラスの被害が減り、今は不法投棄対策についての取り組み方を話し合っ

る。地域ごとにこのようなものができてくればと思う。

- (意見2) : 他のグループでも取り上げられたように新宿区ではホームレスが問題になっているが、逆にいえば新宿はホームレスの住み易いまちといえるのではないか。緑、公園があるのは新宿区だけではないのにどうして新宿には住み続けるのかを、環境以外からも考えていく必要があると考える。
 - (質問2) : まちの中で川をよみがえらせたいとおっしゃっていて、これは水循環のことと思うが、例えば雨水を利用するなど課題としてあがったのか。また、ホームレスの問題について、2、3年前海外で環境サミットがあり、向こうでは貧困の問題が環境問題に位置づけられていると報道されていた。これはC班の方がいっていた環境の定義にかかるのではないかとと思うが、これも環境問題の1つとして考えていけるといいのではないかと。
 - (回答) : グループではそこまでは考える時間がありませんでした。
 - (質問3) : 今のお話について、ホームレスは環境だけでなく、福祉、その他の視点から考えなくてはならない。区は縦割り行政になっているが、環境のような大きな問題解決には横断的な取り組みが必要だと思うがどうか。
 - (回答) : そうだと思います。
 - (意見3) : 中央公園にあったホームレスのテントが200個から30何個に減少したが、行政が力をいれることが必要だ。私の近所にも公園があり、ホームレスのテントが随分あったが、新宿区の道とみどりの課で区民課題に取り上げられ、今皆で分担し花壇を作っている。皆が花壇に集まり交流するようになったことで住みづらくなったのか、現在、テントは3個にまで減った。区長もこのようなことに力を入れているし、皆さんもどんどん意見をいってみてはいかがか。
- ◎ : (吉田) ありがとうございます。Eグループさんでは紫式部というタイトルがついていますが、発表をうかがって思ったのが、環境問題というのはどうしても現状を見て将来をどうするかを見るのですが、それにプラスしてこうした歴史的な過去を見る必要もあるということです。以前、日本書紀には草木に魂があるという表現があるのを学びました。日本人はすべてのものに魂が宿って、自然と共生することを昔から考えていたようです。それをヒントに、将来も見なければなりません、こうした歴史的な成果物を見ていかなければ、とEグループさんの発表を聞いて思いました。
- それではFグループさんの発表をお願いします。
- 1 : 新宿区は繁華街もあれば、高級住宅地もあるという、地域差を持った非常に多面的な区です。そのことから、まず、Fグループではいろんな問題を繁華街固有の問題とその他の地域の問題、と地域でくくり、第4分科会の基本テーマを軸に、緑と環境、リサイクルに出てきた問題をあてはめ、まとめました。全体の説明の前に新宿区の大きな特徴として、新宿区民には自動車であって路上駐車をするとする人はおらず、路上駐車、オートバイなどの問題はよそから来た人が新宿の道路に置いていて区民が困っているという問題があります。また、新宿区には人がたくさんおりますが、人がいるということは多くの人に来て、多くのお金を

落としてくれて、ゴミも落としていく、ということだと私達は認識しました。

では、説明に入ります。まず、緑について、特に新宿の緑が減っているということがあげられます。新宿区の緑比率は都内では上位の方だという報告もありますが、住宅がなくなることとそこに植えられていた樹木が伐られ、ワンルームマンションになるという過程で樹木は間違いなく減っています。また、繁華街はコンクリートで覆われ緑が少ないという問題を抱えております。私たちのグループではその対策として樹木を減らさないということに加えて、木を増やす努力も必要だと考えており、更にただ木を植えるのではなく100、200年と育てる環境が必要であるという議論をしました。

また、環境については地球環境から、地球温暖化が特に議論されました。ヒートアイランドは益々進行しており、何か対策とらねば、という問題意識を持っております。

次に生活環境ですが、再開されたところは良いのですが、していないところには道が狭いことに基づく色々な問題があります。

もう一つのテーマとしては街美化ですが、ポイ捨てや放置自転車の問題、道にはみだす商品や看板などの問題が、繁華街、歌舞伎町にある問題です。リサイクルに関してはあまり議論ができませんでした。

最後に、皆さんもすでにご存知かもしれませんが、7月20日から7回にわたって日経新聞が行った「素顔の東京」という街のイメージ調査で、新宿が取り上げられているのをご紹介します。ここで扱われていることと自分たちの認識がそんなにずれていないという意味で取り上げたいと思います。新宿区は東京を代表する街として1位、変化の激しい街3位、危険を感じる街1位、外国人が多い街4位、消費が最も盛んな街1位、そして、子供を育てたくない街1位ということでした。

◎：(吉田) ありがとうございます。それではB班の方ご質問、ご意見をお願いします。

- (意見1)：子供を育てたくない街1位ということでショックだった。私の子供も地方に行ってしまったが、そういうことなのか、と思った。私たちの周りにも子育てをしている方がいるが、子供を育てるにあたってどういうことが問題なのかを考えてみたいと思う。
- (意見2)：子供を育てたくない街というのは、環境だけではないのではないかと。新宿区には学校が多く有名校も多い。家賃が高いために、結婚して、子供が大きくなると皆出て行かなくてはならなくなるのではないかと。これからは高齢化社会になる。親のそばに住めるように、また、新宿区民を育てるということを考えた区営住宅の建設ということも環境として考えていくべきではないかと。
- (意見3)：地域・繁華街の横軸、緑を縦軸にとるという座標軸で捉える発表方法が理論的で、こんな方法もあったのかと感じた。

◎：(吉田) ありがとうございます。E班さんの発表では、緑・環境・リサイクルと横軸を引いて落としていくという形で問題整理をされており、とてもわかりやすかったのではないかと思います。非常に理論的な班だと思います。日経新聞の記事に関しては私も関心を持ち、ショック

を受けながら読みました。コピーを後でお配りしますのでお時間があれば読んでいただきたいと思います。新宿については外から見られているところがあり、住人の方から見るとちょっと違うのではないかといいところもあると思います。しかし、外からも見ることも大事ですので、そのことも参考にしながら環境に取り組んでいきたいと思っています。では、最後にGグループさんお願いします。

- 1：私たちの班は普段の生活・家庭からみてどういう環境問題があるのかを話し合いました。環境といっても様々な定義がありますが、まず、安全なまちにするにはどうするか、災害時にどうするか、道路が狭くて救急車が通れないなどというところから話を始め、展開していきました。そして、安全なまち作り・道路・公園・緑化の関係やタバコ、などの個人の問題についての議論をしました。では、個々に発表をお願いします。
- 2：前回の分科会から大きな地震が2回もありました。地震の際にどうするか、この間の地震で今まで気付かれていなかったところが出てきたと思います。高層ビルのエレベーターに何時間も閉じ込められるということがありましたが、この間の地震より大きい地震になれば救出までに時間がかかり、人命にかかわる問題だと思えます。このことも安全なまちづくりの中の1つのテーマであると思えます。この間お配りしたブロック塀の問題も、地震と関係しております。災害時、特に子供やお年寄りなどが二次災害などにあってしまうことが大変怖いという気がします。また、ゴミの問題では確かに個人の意識の問題もありますが、ゴミの収集量が多いという中で、包装紙関係などメーカー側の問題もあり、個人にはどうしようもない部分もあるのではないかと思います。家庭ゴミについては、例えばドイツではリンゴのヘタと芯しか残らないといわれるように、日本人の10分の1しかゴミが出てきません。家庭ゴミだけではなく、産業廃棄物として家庭ゴミの何十倍ものゴミが出てくるなど、私たちの努力の限界もあります。その辺も認識を持ってアピールしていくことも必要だと思えます。
- 3：私たちの班では安全なまちづくりが一番の話題になりました。環境といってもいろいろありますが、根本として地域住民にとって環境はどうなのかということがあり、すべてそれにつながっていくということで、最終的に安全なまちづくりという大きなテーマとなりました。

環境問題についてはゴミ、放置自転車など地域差があります。放置自転車などは、役所から配布されたシールを貼り、役所に連絡して、1週間後に持って行ってもらいますが、そのシールがはがされてしまうこともあります。また、放置自転車に他県のシールが貼ってあることから、よその地域から乗り継いで放置していくのではという話になりました。

ゴミの問題は、道路に面しているところはゴミが多く置いて行かれてしまうが、路地に入るときれいに片付けてあるなど地域によって違いがあると思えます。
- 4：私は緑にこだわりたいと思います。緑が身近にあることが子供を育てる家庭・環境には大事だと思います。将来を担う子供たちのために、緑にふれることのできる環境を作っていくことが重要です。また、公園のみでなく、生活の中に身近にある緑が必要だと思います。私の町ではまちづくりということでマンションが建つと緑もできるのですが、道路には緑が

植えられないなどという先入観を廃して、何とかできるのではないかと考え、区なども積極的に資金を出していただきたいと思います。

◎：(吉田) ありがとうございます。それではFグループの方からご質問・ご意見をお願いします。

●(質問1)：生活の目線から、どう気がついたのかを出し合うことでこういう形になったのかと興味深く思った。環境を安全として捉えていったのが新鮮で、また、身近の緑を育てて守ることなどすべて興味深いと思うが、チームとしては何が一番大事ということで一致しているものはあるか。

●(回答)：最低限生きていけることがまず大事で、それから派生していろいろと課題があると思うので、今日の話合いでは、安全性が一番大事ということで一致した。

●(質問2)：安全性が中心となっているが、新宿のまちだから特に安全にすることなのか、個人として問題にしているのか。

●(回答)：個人です。そのために新宿が安全でなければならないということ。生活点が色々あるので一概に新宿で論じてしまったら難しい問題になると思う。皆さんにも後で考えていただけたらと思う。

●(質問3)：安全という問題を表面にたてるとすると、環境問題というのは人間の生命、財産に続いて3つめの環境権という問題にまで触れていくものが安全ではないかと思うが、その辺も考えてみたか。

●(回答)：今日は欠席者もあり、私たちだけでは今日の話が中心となってしまった。もちろん環境についても必要で、身近な環境ということを考えていきたいと思っているが、はじめてのこのような会議なので皆さんの忌憚のないご意見を聞きながら考えていきたいと思う。

◎：(吉田) ありがとうございます。Gグループさんのすばらしいところは安全を取り上げたところだと私も思います。環境は公害問題から始まって社会化してきたのですけれども、公害対策というところからだんだんと自然環境地球と共生しようというところに変わってきて、そして今、安全・安心というところに環境が来ているのが現状だと思います。安全なまちづくりをキーワードとして取り上げたということで、とても問題提起的な発表であったと思います。それでは、学識委員の輿水先生からご発言をお願いします。

◎：(輿水) Gグループに至って、本格的ないい議論になってきたと思います。皆さんの意見を聞くことで皆さんの感じ方・考えが深まり、本格的な話し合いが始まっていく予感がしました。今回は前回も含めて新宿の環境の現状と課題を明らかにしようというのが今日の目的だったのですが、だいぶ問題が出てきていると思います。ただ、まだ足りない。つまり、どこの区にもあてはまる話が多く、新宿の本質的な問題が掘り下げられたか、というと、最後で少し掘り下げられたかなという気がしました。これは掘り下げが足りないのではなく新宿区が東京のすべての問題を抱え込んでいるからで、どこの区にもあてはまる問題が出てくるのは当然なことで

す。この後、新宿区らしくするためには、現状と課題を明らかにし、その課題の理由・原因をどう解決・克服するかという対策を考える必要があります。次に、それを誰が実行するか。区民も実行する、区も実行する、皆が実行する、そして新しい新宿の将来が開けていく。そこで初めて新宿区らしい将来が浮かび上がってきて、それが新宿の新しい基本計画に描かれるとすばらしいと思います。だから新宿の話は私もまだ後でいいのではないかと思います。ただ、新宿区の基本計画として将来の姿を描いていく上で、1人1人は動くが全体が動いていないということに対して、皆さんがじれったく思われていると感じました。では、どうすれば全体を動かせるのか、それはやはり夢だと思います。イメージ・ストーリーを共有すること。今日の紫式部の発想のように、夢とストーリーが組めれば新宿区の計画は動いていけるのではないかと、そしてその目標はG班さんがおっしゃっていたような、身近な安全・安心・やすらぎ、そして身近なやすらぎをいつも感じられる新宿。多分他の人が聞くと新宿ってそんなことができるのと思うでしょうが、そう思われるような目標像をたてることは面白いと思います。最後の安全・安心・やすらぎ、身近なやすらぎを感じる新宿などというのは実現したらすばらしいと思います。今日はありがとうございました。

◎：(吉田) ありがとうございました。吉野先生はいかがでしょう。

◎：(吉野) 発表を聞いておりました非常に意識が高く、すばらしい分析ができたと思っております。直接住み、愛着を持っている皆さんの分析には非常に鋭いものがありました。これを総合的にまとめると非常にいいものができると思います。この分ですと計画の基本構想に向けた、いい提案ができるだろうという大いなる期待が持てました。今回の発表の中で、B・C班から環境の定義があいまいだという話が出ましたが、第4分科会で扱う環境の範囲はある程度決めた方がいいと思います。D班がうまくわけていますが、まず、緑の問題・大気・ヒートアイランドといった自然的環境というもので、この中に建物やゴミの問題などが入っており、これも第4分科会の活動の範囲だと思います。問題は社会的環境と呼ばれるホームレスや安全性、防災の問題、この辺がグレーゾーンですが、これを抜かすと話が進まないような気がします。当面はまだ第4分科会の扱う範囲にきっちり線を引く必要はなく、問題を整理していく中で決めていけばいいのかなと思います。ホームレスの問題などは生活環境の大きな問題で、他の分科会にも提案できますし、家賃などの問題も扱うべきかどうかまだ絞り込む必要はないのではないかと思います。また、お話を聞いていてなるほどと思ったのが、新宿区は昼・夜間人口、特に昼間人口が多く、それを背景に愛着が足りなくて、そういう人たちが環境を汚しているのではないかと話です。これは核心をついているのではないかと思います。前回の基本構想では住民を中心としており、通勤・通学者といった来外者の問題はあまり扱ってこなかったもので、今回の基本構想にはその視点も取り入れるべきではないか、という気がしております。また、CO₂の削減というのも大きな環境問題ですが、具体的には何をしたら良いかわからないという発言もありました。緑を増やそうという提案もありましたが、やはり、繁華街・超高層ビルのCO₂排出が非常に多い。ただ、厳密にはCO₂は燃やすことで発生します。だから火力発電所から出ているのを割り振って考えているので、新宿で出ているのではないということは注

意すべきです。また、電力消費をどのように抑えていくか。例えば超高層ビルが5%電気を節約したら相当な電力削減になります。そういった事業者の取り組みも考えていく必要があると思います。それから、ゴミの問題ですが、全国平均でいうと家庭ゴミは6.5、事業系では3.5という割合ですが、恐らく新宿では比率が逆転しているのではないかと思います。ですからこれからは事業者の取り組みも考慮にいれ、考えていく必要があるのではと思います。皆さん意識が非常に高く、素晴らしい分析がなされました。これからも期待できるとしております。

◎：(吉田) ありがとうございます。それでは冒頭申し上げましたように次回の分科会での作業についてお話ししたいと思います。今日代表になっていただいた方には大変恐縮なのですが各班の発表を持ち寄って一つの案を作りたいと、今日は課題を抽出するという作業をしましたので、それを整理しテーマ性を生かして一つの案にのせていきたいとっております。案がまとまりましたら第4回目の分科会で皆さんに発表し、意見交換をして、それを基にテーマごとにグルーピングして、いよいよ深掘りをする作業に入りたいとっております。先ほど吉野先生から出されましたように、今日皆さんから出された重要なテーマの他に、まだ足りない部分を付加していくということが出てきたのではないかと思います。それを踏まえて皆さんの良い所取りをして一つの案にまとめる作業をしていきたいとっております。各班代表の方、できましたら来週2時間ほどお時間をいただいて、代表の方、学識委員で下案をだし、分科会でディスカッションしたいと思います。代表の方にお集まりいただければという日が、8/5、8/8となっておりますが、いかがでしょうか。(挙手をお願いする) 代表の方が参加できない場合は班の他の委員の方でも結構です。

では8/5ということをお願いします。他の委員の方もお時間があれば参加していただきたいと思っております。

3. 事務局からの連絡事項

〈決定事項〉

- ・代表の方によるグループ議論をまとめ、案を出す作業は8月5日(金) 18:00～20:00、集合場所は企画政策課(新宿区役所3F)

〈次回以降日程〉

- ・第4回 8月12日(金) 18:30～20:30 区役所第2分庁舎1-⑦会議室
- ・第5回 8月27日(土) 13:30～15:30 区役所第2分庁舎1-⑦会議室
- ・第6回 9月8日(木) 18:30～20:30
- ・第7回 9月24日(土) 13:30～15:30

◎：(吉田) 今お配りしている資料は、参考資料ということでお持ち下さい。1つは早稲田大学の寄本教授の容器リサイクル法についての提言、また裏面にあります記事で、京都大学の酒井教授も同様に意見を述べられていますので、ご参考までにお読みいただければと思います。今回

は経済の問題があまり出てきませんでしたけれども、経済的な視点も今後取り入れていく必要があると思ひまして、ご参考までにお配りさせていただきました。

また、前回事務局の方に佐藤さんから大変有意義なご提言をいただいております。佐藤さんの方からはゴミの問題、廃プラの処理の問題についても検討したらどうかというご提言もいただいております。これは先ほど発表いただいた皆さんのご提案の中にも取り込んで、テーマを絞る中で整理をしていければと思ひています。また、皆さんからも今回に限らずご意見、ご提言をいただければと思ひております。

最後に宣伝となりますが、第1回新宿まちづくり学講座が7/13に開催されまして、第2回目が8/16に開催されます。時間は前回と同じく18:00からの予定で、早稲田大学理工学部（大久保キャンパス）57号館-201教室で開催します。詳細は区の広報にも掲載されます。今回は「多文化共生」をテーマに取り上げることになっておりまして、大東文化大学の川村千鶴子先生にお越しいただいて「多文化共生と『新宿モデル』」ということでお話いただきます。もう一つは文化と共生という観点で東京大学の小林真理先生にお話いただこうと思ひております。

本日は時間を超過してしまい申し訳ありませんでした。どうもありがとうございました。